

松方正義 まつかた まさよし 政治家。天保八年二月二十五日薩摩國生れ。大正十三年七月二日歿（八三—一九二四）。通稱金次郎、助左衛門、正作、三之丞、一郎。號孤石、海東、無東、艾竹等。薩摩藩士。藩主島津久光の側近として生麥・寺田屋事件の關はり、討幕運動に加はる。明治二年民部大丞、爾後大藏大輔、勸業頭、内務省勸農局長とたり。十一年渡歐視察。歸國後内務卿、參議兼大藏卿、藏相を經く、二十四年及び二十九年内閣を組織し首相兼藏相、各内閣での藏相と併せ十餘年及び財政經濟の從事。のち樞密顧問官、内大臣歴任。八公爵。

著書 『明治憲政經濟史論』（合著、大正八年四月十五日國家學會）、『熱海と五十名家』（合著、齋藤和堂編著、大正九年十二月二十日靜岡・富永寛明刊、精利堂發賣）等。

文獻 『松鶴渡齋集』全二冊（明治四十一年一月十七日地谷謹一郎編輯、古稀祝賀詞集）等。

